

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●ジャパンカップはスワーヴリチャードが優勝

11月24日(日)に行われたジャパンカップ(G I)ではスワーヴリチャード(牡5歳/栗東・庄野靖志厩舎)が勝利、2018年大阪杯に続く2つ目のG Iタイトルを手に入れました。鞍上のオイシン・マーフィー(イギリス)にとっては初のJRA・G I制覇となりました。

●武豊騎手がJRA年間100勝を達成

11月23日(祝・土)の5回京都7日・第8レースではスマートアルタイルが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、2015年以來4年ぶり、自身通算22回目、川田将雅騎手、クリストフルメル騎手、戸崎圭太騎手に続いて本年4人目となるJRA年間100勝を達成しました。50代での年間100勝は2001年の岡部幸雄元騎手以來、史上5回目のこととなります。

●昆貞調教師がJRA通算400勝を達成

11月23日(祝・土)の5回東京7日・第5レースではターキッシュパレスが1着となり、同馬を管理する昆貞調教師(栗東)は、現役41人目となるJRA通算400勝(延べ4084頭目)を達成しました。

●アンジュデジュールとファンタジストの競走馬登録抹消

2018年JBCレディスクラシック(Jpn I)などの勝ち馬アンジュデジュール(牝5歳/栗東・昆貞厩舎/JRA通算11戦3勝・地方8戦3勝)は、11月20日(水)付で競走馬登録を抹消されました。今後は北海道浦河町の辻牧場で繁殖馬となる予定です。2018年京王杯2歳S(G II)などの勝ち馬ファンタジスト(牡3歳/栗東・梅田智之厩舎/JRA通算11戦3勝・地方1戦0勝)は、11月24日(日)に行われた京阪杯(G III)のレース中に急性心不全を発症して死亡し、同日付で競走馬登録を抹消されました。

●ウイングアローが死亡

11月21日(木)、ウイングアロー(牡24歳)が死亡しました。2000年にフェブラリーS(G I)とジャパンカップダート(G I)を制し、1998年と2000年にはJRA賞最優秀ダートホースに選出された同馬は、JRA通算17戦5勝・地方13戦6勝の成績を残して引退。種牡馬としては大井記念勝ち馬ウマノジョーなどを出し、種牡馬引退後は青森県東北町のフォレブルーに繋養され余生を送っていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●浦和記念(浦和)でJpn II 3勝馬ケイティブレイブが復帰戦快勝

浦和記念(Jpn II、11月28日、浦和、2000m)は、3番手追走から3コーナーで抜け出した2番人気のケイティブレイブ(御神本訓史騎手=大井、牡6歳、父アドマイヤマックス)が後続を3馬身引き離して完勝。3番人気のアナザートゥルースが2着に入り、ロードゴラツは3着、1番人気に推されたデルマルーヴルは4着、逃げたアイファーチオーは9着でした。

●テイムサウスダンが兵庫ジュニアグランプリで無敗馬撃破

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、11月27日、園田、1400m)は、2番手から3、4コーナー中間で先頭に立った3番人気のテイムサウスダン(ミルコ・デムーロ騎手、牡、父サウスヴィグラス)がそのまま押し切りました。2番人気のメイショウテンスイが1馬身半差の2着に入り、1番人気のファシネートゼットは3着、ゲンパチマイティーは5着、イロゴトシは7着に敗れています。

●南部駒賞(盛岡)は北海道のモリノブレイク【各地の主要2歳重賞】

南部駒賞(11月10日、盛岡、1600m)は、後続を引きつけて逃げた2番人気の北海道からの遠征馬モリノブレイク(牡、父ペーカバド)が2馬身半差で完勝。4戦全勝で1番人気に推された地元岩手のグランコーゾーは8着に終わっています。金沢シンデレラC(11月12日、金沢、1500m、牝馬)は、4番手前後を追走した2番人気の北海道所属馬ミステリーベルン(父ニホンピロアワーズ)が、先に抜け出した1番人気のミスカゴシマ(佐賀)を残り100mを切った辺りで捉え、フローラルCに次ぐ2度目の重賞制覇を果たしました。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●愛チャンピオン騎手2回ドナカ・オブライエン騎手が引退

今年のアイルランドにおけるチャンピオンジョッキー(3月24日から11月3日までが対象期間)に輝いたばかりのドナカ・オブライエン騎手が引退を発表しました。自身のSNSで明らかにしたもので、今後は調教師に転身する予定です。ドナカ・オブライエン騎手は1998年7月22日生まれの21歳。父エイダンは今年も含めて21年連続22回もアイルランドのチャンピオントレーナーに輝く伯樂で、兄ジョセフもアイルランドのチャンピオンジョッキー2回の名騎手(現調教師)。自身は2014年9月に初勝利をあげ、2016年にはモイグレアスタッドSを兄ジョセフの管理馬イントリケイトリーで勝ってG I初制覇。2018年にはサクソンウォリアーでG 1英2000ギニー、ラトロープでG 1愛ダービー、フォーエバートゥギャザーでG 1英オークスを制し、アイルランドではチャンピオンジョッキーに君臨。今年もマグナグリーシアでG 1英2000ギニー、日本のディアドラも出走したイギリスのG 1チャンピオンSをマジカルで制していました。